

第 1 回 こども安全対策分科会議事録	
日時	令和 2 年 11 月 4 日（水） 13 時 30 分～14 時 40 分
開催場所	栄区役所本館 1 階会議室
出席者	片岡、渡邊、山下、高杉、角野、柳下、藤森、松本（敬称略） 事務局：大谷地、山崎、佐藤
議題	1 あいさつ 2 議事 (1)自己紹介 (2)分科会の取組について (3)セーフコミュニティ連絡帳について (4)意見交換・情報共有
議事	<p><議事及び報告></p> <p>(1) 自己紹介 初参加の方を含め、全員が自己紹介</p> <p>(2) 分科会の取組について 主な取組事項は 3 つ。小学生の事故予防のための K Y T について、今年度は「栄区セーフコミュニティ連絡帳」を作成し、区内の小学生に配付する新しい取組を説明。</p> <p>(3) セーフコミュニティ連絡帳について 概要、構成について説明。</p> <p><意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に文字が小さい。14pt の大きさを確保すべき。連絡帳ページの枠も小さい。18 ページは特に文字が小さく、内容もよくわからない。不要では。紙質は一般的な連絡帳にあわせてほしい。 ・時間割は前後期を考えて 2 ページ必要では。目標や達成度を書き込むスペースもほしい。見開きにしてはどうか。また、情報ページを偶数・奇数ページの組み合わせにしている点について、クイズとその答え、という掲載内容であれば意味があると思うが、この内容なら見開きの方がわかりやすいのでは。 ・栄区のすべての小学生に配付を検討しているようだが、それは区在住の小学生ということか。区外の学校に通う児童は対象外か。また、この連絡帳は単年度計画なのか、継続予定か。 ・1 年生の学年主任に確認したところ、連絡帳ページの連絡欄は 13.5 cm とのこと。行数は 9 行ほど。1 年生に配慮してこの長さ幅を確保してほ

	<p>しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校によってはB 5判の連絡帳使用を推奨していないだろうか。2年生の息子が連絡帳を使用しており、最初はA 5サイズだったが、その後学校から「B 5判以上の利用を推奨」という通知が来た。 ・食育ページの「寝坊して朝ごはんが食べられなかった」や「大好きなメニューのカレーだ」はいかがなものか。「給食を調理してくださっている方に感謝して食べましょう」等、平易な表現で教育的な内容にすべき。 ・朝食を摂らない児童の中には、保護者に責任がある(朝食を準備しない等)場合が多く、かえって児童が傷つくのでは。できることなら違う内容にしたほうが良いと思う。 ・サイバー対策のページについて「スマホを勝手に使わない」ではなく、「ルールを決めて使おうね」という内容にしてはどうか。今後G I G Aスクール構想が進んでいく中で、「使わない」は通用しなくなる。ルール化を推奨することが啓発につながる。 ・あんぜんマップのページについて、親子で作るならシールがあると楽しく取り組めるのでは。すべての絵を描くのは、低学年には難しい。また、全体的に文字が多く読みにくい。もっと短い文章で文字を大きくすると啓発効果があるのでは。 ・使用期間はどの程度か。学校や児童により異なるとは思いますが。また、転入生への対応は。
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員名簿 2 こども安全対策分科会の取組 3 セーフコミュニティ連絡帳について

第2回 こども安全対策分科会議事録	
開催日時	令和3年3月1日（月）※書面開催
委員	片岡、渡邊、山下、高杉、角野、柳下、藤森、松本（敬称略） 事務局：大谷地、山崎、佐藤
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度 of 取組（中間）報告について 2 セーフコミュニティ連絡帳について 3 令和2年度 栄区セーフコミュニティアンケート 集計概要 4 意見交換・情報共有（意見交換用紙）
意見	<p><こども安全対策分科会の取組について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、コロナ感染拡大になり、各所でのイベントが出来ず、大変残念な一年になってしまいました。しかし、「こども安全対策分科会」では、区役所の皆さん、そして分科会の皆さんのお考え、ご意見を伺う事が出来、すばらしい連絡帳が出来上がりました。小学校の児童に配付されるのが楽しみです。有効に活用されると良いと思います。コロナ禍、とても良い企画でした。ありがとうございました。 ・3項目とも期待通りでよろしいと思います。 ・コロナ禍の中でも、できることをできる形で進められたことはよかったです。他の委員と情報交換できると視野が広がり新たな視点を持つことができるのでとてもよい学びの機会となっていました。セーフコミュニティ連絡帳はとてもよいものができあがり、卒園式で送り出した子どもたちが学校に行き受取る日が楽しみです。 <p><コロナ禍において子どもたちの事故・けが予防のために、委員の皆様の日頃の活動の中でされている工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・元大橋子ども会では、「きらきらドームづくり」を開催しました。会場まで、事故に遭わないか、帰りは一人で帰さない、友達と必ず一緒に帰る、親の迎えを待つ等、慎重に考えて計画を立てました。コロナ対策として、手の消毒、検温（自宅でも実施）、机の配置は密にならないよう1m以上間隔をあける、質問は手を挙げてスタッフを呼ぶ、友達との会話は大声を出さない、小さい声で話す。参加者は16人で少人数でしたのでまとめやすかったです。子ども達はルールを守り楽しい「きらきらドームづくり」が出来ました。コロナ禍、どのようにしたら子ども達が楽しめる事が出来るか、今後も続きそうですが考えながら進めていきたいと思っています。 ・道路での自転車乗りについて、気づいたときは注意をする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から身体を動かし、自分の身を自分で守れるような身体づくりを楽しみながらしています。コロナ禍で、子どもたちがほどよい距離をとりながら活動することを、身体を動かす時に意識しています。が、日常が密に近い状況にあることも避けられない状況にあります。 <p><コロナ禍においてセーフコミュニティこども安全対策分科会でできる取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの収束を見て、分科会の皆さんのご意見を聞きながら今後何が出るのか、また、他の分科会と交流しながら一緒に出来る事もあるのではないかと思います。よろしく願いいたします。 ・セーフコミュニティアンケートの中で、子どもの安全についての関心は高いので、幼稚園・保育園中心から小中学校へ広げていく必要があるかもしれません。区P連や学校保健会など、保護者と関わりのある組織と連携することを考えても良いかと思います。 ・各幼稚園・小学校で取り組んでいる事を分科会で発表し、それぞれの対応を取り入れる。 ・今年度も運動指導をしていただきました。コロナ禍にあっても指導員の方が方法を考えてくださり、園の状況に合わせてご指導くださったのでとてもよい機会になりました。引き続き今後もお願いできると嬉しいです。 <p><その他ご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーフコミュニティの再認証に向けて、区民の皆様はかなりアピールできていたと思いましたが、アンケートの結果を見て、3割強という認知度にびっくりしました。積極的に地域活動に参加している方とそうでない方という層に分かれていることが如実に表れているのだと思います。新たな視点に立った活動が必要なのかもしれません。 ・昨年度全園に配付していただいた KYT の教材で、今年度区内保育施設長の連携会議において実際に皆で学ぶ場を持ちました。施設長が体験することで園内でも取り組みやすくなったのではないかと思います。が、今後も各職場で取り組みやすいよう学び合える機会を持ちたいと考えています。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員名簿 2 意見交換用紙 3 こども安全対策分科会の取組 4 栄区セーフコミュニティアンケート（概要版）

第1回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	令和2年7月20日（月）午後7時から
開催場所	栄区役所新館4階8号会議室
出席者	委員：白川、中野、三谷、矢合、伊藤、片岡、松尾、末村、田村 栄区役所（地域振興課）：根本、細井、瀬川 （欠席者：管、大塚、磯川）
議 題	1 座長の選出について 2 令和2年度 分科会の活動内容について 3 分科会だよりの発行について
議 事	1 座長の選出について 互選により、栄区体育協会の白川会長が座長として選任された。 2 令和2年度 分科会の活動内容について ・分科会各構成団体において、事故・けがの予防につながる取組を実施するとともに、個人でも取り組めるウォーキングや、自宅で実施できるスポーツ等についても推進することとした。 ・ウォーキング推進のチラシをセーフコミュニティのマークを付けて作成し、区民に周知することとした。 ・専門家を交えたより効果的な取組を専門機関と調整して実施することとした。 —想定取組— ・専門家が分科会各構成団体に出向いて実施する事故・けが防止講座 ・運動指導者や支援者を対象にしたヒアリング等の経験調査及び調査の分析 ・分析共有会へのアドバイザー派遣等 3 分科会だよりの発行について 分科会の活動内容について分科会だよりを作成し、広く周知を図る。
次回予定	第2回スポーツ安全対策分科会 日時：未定
資 料	・広報よこはま栄区版7月号特集ページ ・各構成団体の事故・けが予防につながる取組

令和2年度 第1回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	令和2年9月16日(水) 10時20分から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：平間、駒田、輿石、関、山田、佐々木、田中、雨宮、加藤、高橋、大谷 (敬称略) 事務局：根本、石塚、鶴池、村田
議 事	<p>1 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より4～7月に開催された交通安全キャンペーンについて報告があった。 <p>2 活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より9～10月に開催予定の交通安全キャンペーンの連絡があった。 <p>3 栄区内の交通事故発生状況(栄警察署からの情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年はコロナの影響で交通事故死亡事故は昨年に比べると減少しているが、それでも、県内の交通事故死亡事故は今年全国ワースト2位となっている。 死亡事故の原因は二輪車がからんでいる事故が多い。また、歩行中の事故も多く特に75歳以上の高齢者の事故が多発している。横断歩道を渡るようにしてほしい。 9月下旬は秋の全国交通安全運動期間となる。全国運動は秋のみ行っているが、それはこの時期に一番事故が多いから。夕方暗くなるのが早い時期となるので、前照灯を早めにつけてほしい。 「自転車のルールがよろしくない」という内容の連絡がよくくる。歩道を走るときは歩行者が最優先という意識をもっとしてほしい。 <p>4 今年度のセーフコミュニティ交通安全対策分科会の取組方針</p> <p>具体的な取組として</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で活動を進めざるを得ない中、感染症拡大防止に配慮した内容でキャンペーン活動を行う。 小学生を対象にしたヘルメット着用率調査を行う。 高齢者交通安全教室の状況や様子について紹介してもらい情報共有する。 <p>5 自転車用ヘルメット着用の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年通り、区内市立小学校と区内市立保育園約6000名に啓発用チラシを配布した。(保育園：4月 小学校：6月に配布) <p>6 区内市立保育園園児の自転車用ヘルメット着用率にかかわる調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 4園約150名の保護者が回答。 子どもを自転車に同乗させる保護者は半数以下。同乗させる際は9割ほどの保護者がヘルメットを着用させている。 園児の半数以上はまだ自転車に乗らない(乗れない)が、7割ほどの園児はヘルメットを着用して自転車に乗っている。 <p>7 令和元年度スクールゾーン対策協議会で出された要望と対応結果</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールゾーン対策協議会の概要説明 各校から出された要望に対し、プラスの効果が得られるよう、各関係機関がよく対応している状況がわかる。 警察にあがる要望は横断歩道などの路面補修や交通取締り強化の内容が多い。 土木事務所にあがる要望は、車止めの設置や歩道、外側線の補修などが多い。 その他、協議会で出された質問や意見を一部紹介

	<p>8 その他意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「車止め」は歩道に車を乗り入れられないように設置しているものであり、車が突っ込んでくるのを防ぐためのものとしてつくられているのではない。埋設管が下にあると物理的に設置できないところもある。 ・このコロナ禍の中のキャンペーンでは、啓発物品の配布の折、「受け取ってくれるだろうか?」といった感覚があるが、みなさんはいかがでしょうか。
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年8月末の栄警察署管内人身交通事故発生状況（概数） ・栄区内発生の高齢運転者交通事故統計 ・令和2年度セーフコミュニティ交通安全対策分科会の取組方針 ・自転車ヘルメット着用啓発チラシ ・保育園児の自転車用ヘルメット着用率にかかわる調査結果 ・令和元年度スクールゾーン対策協議会で出された要望および対応の結果一覧

令和2年度 第2回 交通安全対策分科会会議録

日 時	令和2年11月13日(金) 10時20分から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：平間、駒田、輿石、関、山田、佐々木、田中、雨宮、高橋、大谷(敬称略) 事務局：根本、石塚、村田、鶴池
議 事	<p>1 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より9月・10月に開催された交通安全キャンペーンについて報告があった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今後のキャンペーン活動でも、マスクや手袋を着用の上、啓発活動を行う。 <p>2 活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より10月以降開催予定の交通安全キャンペーンの連絡があった。 <p>3 栄区内の交通事故発生状況(栄警察署からの情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄警察署より現在までに発生した交通事故に関して情報提供があった。コロナウイルス感染症の影響により外出する機会も減ったことで、交通事故件数は減少しているが、交通事故死については、全国で4番目に多い。引き続き注意喚起を行う必要がある。 <p>4 児童の自転車着用ヘルメット着用率調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より児童の自転車用ヘルメット着用率調査に関する連絡があった。今年度は、区内市立保育園だけでなく、市内市立小学校にも協力をいただいて調査をしている。
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月末の栄警察署管内人身交通事故発生状況(概数) ・交通安全に関するチラシ【栄警察署】

令和2年度 第1回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊定例会 議事録

令和2年8月27日 15:00～

・出席者

主任児童委員：宮崎・北野

こども家庭支援課：広瀬係長・佐佐木・行田

社協：山口

1 昨年度の活動の振り返り

① 活動周知

② あかちゃんふれあい体験：中野・区役所・小菅ヶ谷

③ いのちの授業

・西本郷中学校

2月27日（木）アンケート結果確認

子どもたち、素直によく聞いてくれた。グループで行うことで学びが発展していた。終了後に、スタッフ間で10分程度でも振り返りの時間を作れたら良かった

・本郷台中学校 3月4日（水）中止

④ 栄区民生委員児童委員協議会での啓発

2 今年度の活動について

① 活動周知

エコバック：今年度は年号は入れずに600枚作成。

昨年度まで周知の場所としていた行事等は今年度はコロナウィルスの影響で中止
その中で周知できるところはないか

→今年度は広く区民に周知するのではなく、支援者向けに周知できたら良いのではないか

・R2.9.28 ハロウィン鍛冶ヶ谷こども部会

・R2.9.10、11 民児協全体研修会

・R2.9.28：主任児童委員と専任の先生との連絡会

・こんにちは赤ちゃん訪問員定例会

・R2.10.14：栄区自立支援協議会第1回こども部会

・R3.2.15?：園長先生と主任児童委員との連絡会

・主任児童委員定例会

・校長会

・虐待関係の研修

・栄区こども会

→啓発資料は昨年度のものに、フリースペースのチラシも含めたらどうか

宮崎さんより、運営企画の野本係長へ確認する

② あかちゃんふれあい体験：今年度中止

③ いのちの授業

学校も今年度は授業数を確保するだけで精一杯なのではないか

今年度は来年度の準備期間として位置づけていく

- ・西本郷中：今年度は難しいとの意見あり
 - ・小山台中：道徳の授業に組み込もうと考えてくれていたが、コロナウィルスの影響で今年度は難しいとの意見あり。授業に組み込んでもらうことで卒業式間際の日程にならずに良いのではないか
 - ・オンラインの授業はふれ合いが体験できないのと、一方通行で生徒の反応が見られないため、難しいのではないか
 - ・R2.9.15の校長会で今年度は中止すること、代替案が出てきたら報告すること、何か良い代替案があったら報告をお願いしたいことを伝える
- 今年度、授業ができないことで、今までの活動が途切れない様にしていきたい

④ 栄区民生委員児童委員協議会での啓発

今年度もできたらと考えている。R2.10~11月に依頼してR2.12月頃から地区を回れればと思っていきたい

高齢者の話題が中心になってしまうので、子どものことも知ってほしい
事例紹介のケース選定が難しい。

3 その他

- ・住所地と担当エリアが違う場合もあり、地域と学校との連携が難しい場合もあり
- ・来年度、区から、保育園と幼稚園への虐待支援の啓発として出前講座を行う予定

4 次回の日程 10月27日（火）15時00分～

令和2年度 第2回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊定例会

令和2年10月27日 15:00～

参加者：主任児童委員（宮崎さん、北野さん）、社協（山口さん）、にこりんく（松本施設長）、区（広瀬係長、行田、佐佐木）

1 前回事務局打ち合わせの確認

（議事録参照）

2 啓発活動について

- ・ 9/10、11 民児協
- ・ 9/28 主任児童委員と専任連絡会
- ・ 10/5 園長会
- ・ 10/15 こんにちは赤ちゃん訪問員定例会
- ・ 10/20 中学校長会
- ・ 11/6 小学校長会
- ・ 11/16 主任児童委員定例会
- ・ (12/3 子育て支援者団体連絡会)
- ・ 12/5 お楽しみ会
- ・ (12/12 にこりんくミニコンサート)

3 今後の活動について

- ・ 令和2年11月2日～9日 区役所 児童虐待防止月間啓発展示
- ・ 広報よこはま11月号にて児童虐待防止について啓発
- ・ 本郷中学校での特別授業について
→今年度は時期やコロナ渦でのプログラムの困難さがあり、実施困難。
次年度もコロナ渦が続くと想定した上で、どのようなことができるか、さかえっ子の笑顔ひろげ隊の活動目的をどうするか等次回定例会にて検討していく。

4 その他

【サロン再開しているところ】

- ・ にじいろ（小菅ヶ谷）AM、PMで分けて再開。
- ・ かじがやっ子あつまれ（10組程度にしている）
- ・ 子育てティーサロン（豊田ケアプラ）
- ・ モーリーズ

- ・子育て喫茶げんき

【その他】

- ・10/31（土）ボランティア団体同士でコロナによる活動の影響を情報交換会（小菅ヶ谷）を行った。

5 次回日程

- ・12/22（火）15時～

令和2年度 第3回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊定例会

令和2年12月22日 15:00～

参加者：主任児童委員（宮崎さん、北野さん）、にこりんく（松本施設長）フレンズさかえ（岩堀さん）、区（広瀬係長、行田、佐佐木）

1 前回事務局打ち合わせの確認

（議事録参照）

2 啓発活動について

- ・11/2～9 区役所 パネル展示
- ・12/5 鍛冶ヶ谷こども部会 お楽しみ会
- ・2/12 校長会
- ・3/15 子育て支援者団体連絡会

笠間主児の青さん・勝島さん主催のキャンドルナイトでも周知出来たら良かったか

3 いのちの授業について

- ・別紙参照
- ・実施案：目的
地域交流の場：主任児童委員・にこりんく・フレンズさかえ・学校・区と一緒に作る
身近に信頼できる大人がいることを知ってもらう
子ども自身が将来父親・母親になるイメージを持てる
- ・実地案：内容
(1) 赤ちゃんふれあい体験 にこりんくでのインタビュー：事前にアンケートを取る
にこりんくとフレンズさかえの紹介も追加する
- ・講義レジュメ

4 次回日程

- ・3/2（火）15時～

令和2年度 第4回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊定例会

令和3年3月2日 15:00～

参加者：主任児童委員（宮崎さん、北野さん）、にこりんく（松本施設長）、フレンズさかえ（岩堀さん）、社協（山口さん、カマタさん）、区（広瀬係長、行田、佐佐木）

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

- ・令和3年3月15日 子育て支援団体連絡会
→オンラインで実施。児相のDrが講義講師。
- ・令和3年3月13日 さかえ竹の鼓KIDS（さかえっ子体操広げる活動）30組程度

3 いのちの授業について

【実施要項】

- ・令和3年度はコロナ対策のため「赤ちゃんふれあい体験」は実施せず、中学生が事前に質問した内容を母子にインタビューしたものを上映する。
- ・実施可能な体験内容に（4）にこりんく・フレンズさかえの紹介（中学生の居場所・身近な相談先として）を追加する。

【講義用パワーポイント】

- ・さかえっ子の活動としては、講義案③をベースにしていきたい。
- ・命の大切さから、自分と周りの友達の命も大切にすることということが伝わるように強調していきたい。

【R3年の活動に向けて】

- ・令和3年2月12日 中学校長会にて令和3年度の取り組み依頼実施。（別紙参照）

《中学生へのアンケートについて》

- ・3月15日の主任児童委員の定例会までに、アンケートの案を作成。（広瀬係長）
- ・主任児童委員が学校訪問した際に、専任や校長にアンケート内容や対象学年等について、学校側のご意見をいただく。
- ・5月頃、中学生へアンケート配布。
- ・6月頃、アンケート回収、集計。
- ・夏頃、動画（ママバージョン、パパバージョン）撮影。
- ・秋～冬頃、いのちの授業実施。

4 次回日程

- ・区の新担当者が決まったら日程調整する。時間は15時から。（火曜日か金曜日）

令和2年度 第1回 栄区セーフコミュニティ 高齢者安全対策分科会 議事録

○ 日時

令和2年10月16日（金）午後2時～3時30分

○ 会場

栄区役所 新館1階 101号会議室

○ 出席者

石塚委員、加藤委員、金子委員、川島委員、小林委員、田邊委員、福田委員、
湯瀬委員、和知委員、（欠席 江口委員、田中委員、塚本委員、山形委員）
事務局：小田、平林、新井、岡田、窪田

1 あいさつ

2 自己紹介

3 議事

（1）各団体・地域での活動報告・集約について

（2）令和元年度 転倒予防に関するアンケート集計結果報告

- ・新型コロナウイルスの関係でアンケートの回収は減っている。
- ・転倒予防体操リーフレットを活用した運動を定期的に「している」・「したことがある」と答えた方が、前年度より増えている。各ケアプラザで開催した研修やフォローアップ研修の効果もあると考える。

（3）令和元年度転倒予防フォローアップ研修会を受けた後のアンケート集計結果報告

- ・アンケートに答えてくれた方は全員「周りの人に広めた」と回答している。
人に伝える時、年齢差や体力差がありどこに焦点を当てるか難しかったという意見があり、加藤先生と黒田先生にもお伝えしている。

【意見】

- ・自粛期間の後、筋力の低下やADLが低下しており、スクエアステップの教室でいつもの動きができなくなっている方がいた。転倒予防の体操を繰り返し取り入れるようにした。
- ・ケアプラザで行った加藤先生の講座は大変わかりやすく好評だった。他の人に広めるのはなかなか難しい。
- ・年齢差がある場合は、一番簡単な体操にするのがよいのではないか。

（4）令和2年度のスケジュールについて

今年度も各ケアプラザで転倒予防の講座を行なった後、黒田先生のフォローアップ講座を予定している。

- ・ヒートショックのポスターは町内会や病院の他、今年度は医師会と薬剤師会にも依頼予定。

(5) 転倒予防 DVD 製作について

新型コロナウイルス感染予防のため集まって体操をする機会が減っている。転倒予防体操をさらに広めるため、DVD を作るようになった。栄区の HP 上にアップすることと、DVD をリーダーさんに配りたいと考えている。今後、周知の方法などご意見をいただきたい。

4 意見交換

- ・ヒートショックについて、これから本格的に啓発していく時期。地域の広報の特集記事などに載せている。夏の熱中症、冬のヒートショックというように定例的に種々なところで啓発していく。
- ・新型コロナ感染症予防で集まる場が減っており、小さな集会のたびに配っていくしかない。
- ・オンラインの講座なども検討した方が良いが、温度差があり使えない方も多い。
- ・人材が底をついている。新しく 50~60 代の方が増えると良い。アプローチ方法が課題。
- ・元気づくりステーションや筋トレ自主会から転倒予防のデータがたくさん出ている。全てのグループを訪問した訳ではないが、チームが停滞している。各グループの情報交換の場がなくなっている。このままでは転倒予防のデータが集まらなくなってしまう。
- ・新しいリーダーが見つからず苦勞しているグループがある。ケアプラザとしても自主グループをフォローしていこうと思っている。
- ・地域のグループが 3 つ解消した。(配食グループ、車椅子ダンス、健康づくりの出張グループ) 密の会議は社協でも積極的にやっていない。
- ・ちょこボラの団体は多い。地域からのニーズがあるのでモチベーションになっている。室内のボランティアより庭仕事などの需要が多かった。
- ・社協は wi-fi 環境があるので、会議をオンラインでやってみようと呼びかけている。民生委員の全区の会議を 12 月にオンライン開催する予定。家か社協で参加してもらおう。
- ・タクシー会社とコラボ。スマホを使ってタクシーを呼ぼうとアプリを入れてやってみる予定。
- ・ご自分のスマホを使って便利な生活をしていけたらと思う。

令和2年度 栄区セーフコミュニティ 第2回高齢者安全対策分科会

日時 令和3年2月10日(水) 書面開催

1 議 事

(1) 転倒・転落予防 令和2年度実施評価

令和3年度取り組みについて

【資料1】

令和2年度は、転倒・転落予防について、チラシ・リーフレットなどを活用し幅広く啓発し、転倒予防啓発研修会も実施しました。また、転倒予防体操のDVDを作成しました。

令和3年度はDVDを活用し研修会を開催、栄区ホームページへ転倒予防体操の動画を掲載予定です。

(2) ヒートショック対策 令和2年度実施評価

令和3年度取組について

【資料2】

令和2年度は、ヒートショック対策について、ポスター、リーフレット、広報、Twitter等を活用して、啓発を行いました。

令和3年度も前年度同様、関係機関の協力を得て、啓発活動を継続します。

(3) 次年度の高齢者安全対策分科会スケジュールについて

【資料3】

2 依頼事項

令和3年度分科会委員について

令和3年度分科会委員について、令和3年4月9日(金)までに別紙にてご返答ください。

書面開催のため、議事録等はありません。



令和2年度

第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会 災害安全対策分科会

書面により開催

報 告

- 1 令和元年度地域防災拠点訓練実施状況について

議 題

- 1 セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提言について

※次回分科会は令和2年10月頃を予定しています。

令和2年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		小泉 信義	栄区副区長
		伊藤 ゆかり	栄区総務課長
		御所脇 佑介 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

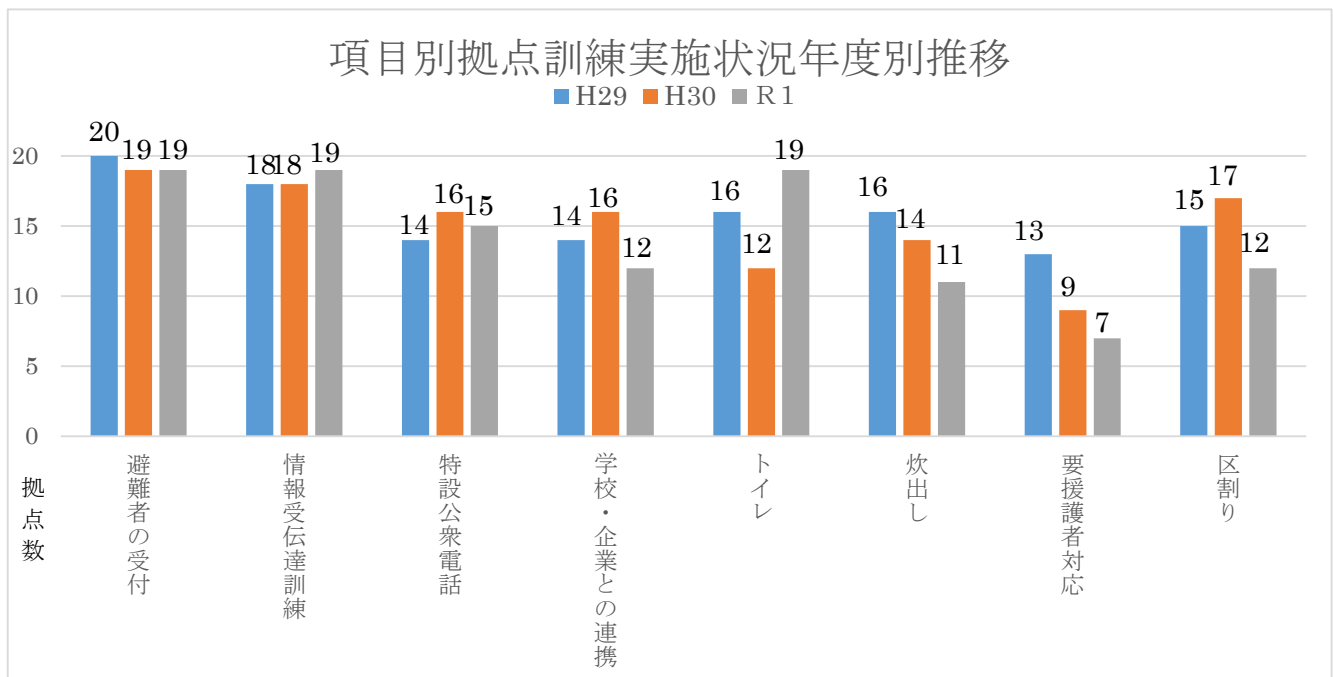
報告 1

令和元年度地域防災拠点訓練実施状況について

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進しております。

令和元年度、災害安全対策分科会では避難者受付訓練とトイレ対策の推進に特に力を入れ、各拠点に2つの項目を訓練の必須項目として実施をお願いしていました。2つの項目の訓練はどちらも高い実施率を記録しており、各拠点での意識の向上が見受けられます。

その他の項目の訓練についても計画的に訓練が行われるよう支援を検討していきます。



※詳細は、別紙1「令和元年度地域防災拠点訓練実施状況」参照

【参考】

●防災訓練とは

主にAED訓練や初期消火訓練、煙体験など自助共助の観点からの訓練

●拠点運営訓練とは

上記の表に示した項目のような、円滑な地域防災拠点運営に関わる訓練

令和元年度 地域防災拠点訓練実施状況

拠点名	避難者の受付	情報受伝達訓練	特設公衆電話	学校・企業との連携	トイレ	炊出し	要援護者対応	区割り	その他特徴ある訓練
千秀小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	負傷者搬送訓練
豊田小学校	○	○	○	○	○	○	○		夜間対応訓練
飯島中学校	○	○	○	○	○	○			
飯島小学校	○	○	○		○			○	
小菅ヶ谷小学校	○	○	○	○	○	○			夜間対応訓練 負傷者搬送訓練
本郷台小学校	○	○	○	○	○			○	ペット同行避難訓練
笠間小学校	○	○	○	○	○	○		○	
西本郷中学校	○	○	○	○	○		○	○	HUG訓練
西本郷小学校	○	○			○	○	○	○	夜間対応訓練 ペット同行避難訓練
小山台小学校	○	○	○	○	○				ペット同行避難訓練
本郷中学校	○	○			○		○	○	
公田小学校	○	○		○	○	○		○	
桂台小学校	○	○			○	○			ペット同行避難訓練
桂台中学校	○	○	○	○	○				負傷者搬送訓練
桜井小学校	○	○	○		○			○	
上郷小学校	○	○	○		○			○	
庄戸小学校	○	○	○		○	○	○	○	ペット同行避難訓練
旧庄戸中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	dig訓練、夜間対応訓練 負傷者搬送訓練、ペット訓練
旧野七里小学校	○	○	○	○	○	○			負傷者搬送訓練

議題 1

栄区地域防災拠点運営委員会会長 各位

セーフコミュニティ災害安全対策分科会

セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提言について

セーフコミュニティ災害安全対策分科会では、令和元年度に災害安全対策の課題と取組について整理を行い、具体的な取組内容を示し、課題について取り組んできました。

引き続き、今年度も課題に対する取組を推進していきますので、以下の項目についてご協力を頂けるようお願い申し上げます。

1 今年度の災害安全対策分科会の課題と取組の概要について（昨年度から継続）

(1) 家庭における災害対策の課題 **自助の課題**

家庭における事前の備えの啓発を行います。

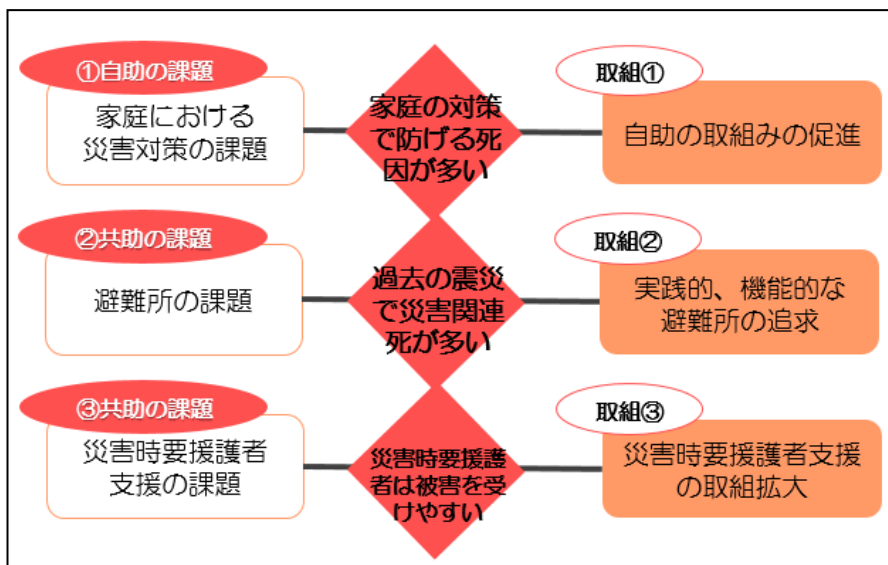
(2) 避難所の課題 **共助の課題①**

災害関連死の防止に向けて、実践的・機能的な避難所を追求するための避難所運営訓練を行います。

(3) 災害時要援護者支援の課題 **共助の課題②**

災害時に要援護者は被害を受けやすい傾向にあることから、災害時要援護者支援の取組拡大を行います。

【参考】課題と取組のイメージ（令和元年度から）



2 課題に対する具体的な取組について

(1) 家庭における災害対策の課題に対する取組 自助の課題

ア 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）

チラシ（別添）を使用した広報を行います。引き続きご協力をお願いします。

イ 「災害に備える防災ノート（仮）」の作成・配布（新規）

栄区セーフコミュニティアンケート（H30）で「あなたの家では、震災時の災害に対する備えをしていますか」の質問に対して、50%を超えた項目は「携帯ラジオ・懐中電灯の用意」「水の備蓄」「食料の備蓄」の3項目だけでした。自助の取組についての一層の啓発が求められていることから、家庭における自助のヒントを示した「災害に備える防災ノート（仮）」を作成します。つきましては、配布や広報にご協力をお願いします。

「災害に備える防災ノート（仮）」概要

●内容

家具転倒防止策や必要な備蓄品など、家庭での備えに関するヒントを確認しながら書き込みができるノートを作成します。栄区では、高齢者が多いことから、高齢者が備えるべきポイントも掲載します。

●規格

A5サイズ、カラー、10ページ程度

●スケジュール

5月～11月：作成、印刷

12月～：配布（拠点訓練での配布、区役所・施設等での配架）

〈参考〉西区作成「もしもに備える防災ノート」

（西区では、特に子育て世帯向けの備えを掲載しています）



(2) 避難所の課題に対する取組：災害関連死の防止に向けた避難所運営 **共助の課題①**

災害関連死（※1）を防止するためには、各避難所が機能的、実践的な運営訓練を行う必要があります。栄区では令和元年度から、全ての地域防災拠点運営訓練に対して、5年計画で項目を指定し、区全体の訓練水準を高める取組を行っています。

計画に基づき、参与と各拠点運営委員で相談し、計画項目を含めたテーマを決めて訓練を行うようお願いします。令和2年度は令和元年度実績に基づき、訓練計画の項目の一部見直しを図りました。改めてご確認をお願いします。

※1…災害による火災・水難・家屋の倒壊など直接的な被害による死ではなく、避難生活の疲労や環境の悪化などによって、病気にかかったり、持病が悪化したりするなどして死亡すること

令和2年度策定訓練計画（令和元年度からの見直し部分は 下線）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
避難者受付・トイレ対策	○				総合訓練
情報受伝達・特設公衆電話・ <u>要援護者対応</u>		○			
区割り・炊き出し			○		
学校、企業等との連携・ <u>夜間訓練</u>				○	

※○がついた項目は訓練必須項目とし、その他は各拠点必要に応じた訓練を実施

- 令和 元年度 避難者受付、トイレ対策
- 令和 2年度 情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応
- 令和 3年度 区割り、炊き出し
- 令和 4年度 学校・企業等との連携・夜間訓練
- 令和 5年度 総合訓練の実施

(3) 災害時要援護者支援の課題に向けた取組 **共助の課題②**

みんなにやさしい避難所運営、災害関連死を防ぐ観点から、地域防災拠点の校舎内に災害時要援護者（高齢者、障害者、乳幼児・妊産婦など）用の別教室を概ね3教室確保することが望ましいとされています。昨年度に引き続き、栄区内小中学校長に対して、概ね3教室を確保できるように依頼します。併せて別教室を活用した訓練を積極的に行うこととします。

〈参考〉

栄区の災害関連死による死者想定…約 116 人

※熊本地震における直接死と災害関連死の比率から災害安全対策分科会事務局で推計（直接死による死者数：災害関連死による死者数＝27:73に基づき、栄区の直接死による死者想定 43 人で計算）

総務課防災担当

担当：山口、御所脇、中山

電話：045-894-8311

FAX：045-895-2260

E-MAIL：sa-bosai@city.yokohama.jp

令和2年度
第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会
災害安全対策分科会

書面により開催

報告

1 令和2年度災害安全対策分科会活動について

資料1

2 令和2年度地域防災拠点訓練実施状況について

資料2

令和2年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		小泉 信義	栄区副区長
		伊藤 ゆかり	栄区総務課長
		御所脇 佑介 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

報告 1

令和 2 年度 災害安全対策分科会の活動について

1 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）

チラシを使用した広報を行いました。

- ・区役所窓口での配布
- ・大船駅 PR ボックスでの配架
- ・栄消防署の防災訪問での配布
- ・総務課防災担当の出前講座での配布

2 「栄防災ノート」の作成・配布（新規）

家庭での災害の備えに関するヒントや避難行動の考え方、災害時情報収集方法などを確認しながら書き込みができる「栄防災ノート」を作成しました。

- ・規格について
A5 サイズ、フルカラー、8000 部印刷
- ・配布について
令和 3 年 1 月区連会でご紹介し、区役所、区内施設、地域防災拠点運営委員会などで配布していきます。

3 地域防災拠点への提言について

「報告 2」参照

4 災害時要援護者支援の課題に向けた取組

各地域で要援護者支援の取組が進むよう、下記取組を実施しました。

- ・栄区内小中学校長に対して、概ね 3 教室を確保できるように依頼しました。
- ・災害時要援護者避難支援訓練を促進するため、自治会町内会に補助を行いました。
- ・要援護者支援をテーマとした出前講座の実施や、リーフレット「災害時要援護者支援ガイド」の配付、希望のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、支援の取組を推進しました。

報告 2

令和 2 年度地域防災拠点訓練実施状況について

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進し、令和元年度からの5か年計画に基づく訓練実施項目の提言を行っています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の規模や回数の訓練を実施することができていません。次年度以降の提言については、感染症対策や今年度未実施項目を踏まえて見直しを検討します。

【参考 1】 地域防災拠点運営訓練 5 か年計画

年度	実施項目	備考
令和元年度	避難者受付、トイレ対策	済
令和2年度	情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応	令和2年度の実施状況を加味して、計画の見直しを検討
令和3年度	区割り、炊き出し	
令和4年度	学校・企業等との連携・夜間訓練	
令和5年度	総合訓練の実施	

【参考 2】 令和 2 年度地域防災拠点訓練実施拠点及び実施項目（令和 2 年 4 月～12 月）

拠点名	訓練実施項目（○）					
	避難者受付	情報受電達	特設公衆電話	要援護者	トイレ	感染症対策（座学含む）
公田小	○	○	○			○
笠間小	○	○	○			○
桂台小				○		○
西本郷中		○				○
旧庄戸中	○	○	○		○	○
飯島小						○
桂台中	○	○	○		○	○
本郷小	○				○	○
小菅ヶ谷小	○	○	○			○
小山台小	○	○	○		○	○

（備考）

- ・ 訓練実施：10 拠点/20 拠点（12 月 11 日時点）
- ・ 訓練を実施した拠点では、新型コロナウイルス感染症対策の訓練、研修が行われた。
- ・ 従来の住民を広く募る規模での開催はなく、運営委員会を中心とした規模で行われた。

令和2年度 栄区セーフコミュニティ 第1回自殺予防対策分科会

令和2年9月（書面開催）

1 令和2年度栄区の自殺予防対策の取組について ……資料1

例年実施している駅前のキャンペーンは中止し、図書館の展示のみ行っています。
また、サポーター養成研修は、転入職員研修が集ってできなかったため、方法を変更し、下半期に行われる人権研修で行います。
3月のキャンペーンの実施については、感染症の状況をみながら検討します。
なお、新型コロナウイルス感染症によりイベントが中止になるなどこれまでの広報の機会が減っている状況ではありますが、9月10日に出された厚生労働省の通知及び大臣メッセージにもあるように、相談窓口につなげることができるよう、広報してまいります。

2 地域自殺実態プロフィールについて ……資料2-1 横浜市 資料2-2 栄区

栄区の重点パッケージ及び特徴に変化があります。
重点パッケージでは、「無職者・失業者」がなくなり「高齢者、生活困窮者、勤務・経営」となりました。
また、特徴として、「男性20～39歳無職同居」が上位5位に入ってきています。この年齢層は、横浜市では上位5位に入っていません。
今回のプロフィールは2019年（令和元年）のものです。感染症による生活様式の変化の影響があるのかどうか、引き続き状況をみていきます。

3 横浜市自殺対策計画 ……冊子 概要版

これまでの分科会で原案についてご説明してきましたが、印刷製本され発行されましたので、お渡しします。

4 その他

- ・横浜市 9月自殺対策強化月間の取組（記者発表資料） ……資料3

<配付>

- ・委員名簿
- ・取組の体系
- ・厚生労働大臣からのメッセージ

栄区セーフコミュニティ推進協議会 自殺予防対策分科会 委員名簿
委員 【50音順】

氏名	所属	備考
井川 英生	栄区民生委員児童委員協議会 副会長	
牛尾 浩一	横浜市栄区生活支援センター 所長	
臼井 喜代士	栄区商店街連合会 会長	
小田原 俊成	横浜市立大学学術院医学群教授 横浜市立大学保健管理センター センター長	座長
小川 健司	神奈川県栄警察署生活安全課長	
金子 寛平	栄消防署救急担当課長	
城戸 亜希子	横浜市野七里地域ケアプラザ 所長	
庄司 晃洋	栄区基幹相談支援センター 所長	
田中 伸一	栄区保健活動推進員会 会長	
二宮 三嘉	栄区薬剤師会 会長	
野村 武	栄区医師会 会長	
松吉 恵子	横浜栄共済病院医療安全管理室 師長	

オブザーバー

氏名	所属	備考
土井原 千穂	横浜市立大学保健管理センター 臨床心理士	
吉田 尚友	栄こころの健康相談所 所長	
佐々木 祐子	健康福祉局こころの健康相談センター 依存症等対策担当係長	
高附 大介	健康福祉局こころの健康相談センター相談援助係	

事務局

氏名	所属	備考
青木 匡史	福祉保健センター長	
井上 弘毅	福祉保健センター担当部長	
角田 恭子	福祉保健課長	
小田 淳	高齢・障害支援課長	
大野 和義	福祉保健課 事業企画担当係長	
小出 創	高齢・障害支援課 障害者支援担当係長	
兼清 泉	福祉保健課 事業企画担当 社会福祉職	
鈴木 久美子	福祉保健課 事業企画担当 事務職	
尾形 祥子	高齢・障害支援課 障害者支援担当 保健師	
下柳 菜美子	高齢・障害支援課 障害者支援担当 社会福祉職	
大木 彩子	高齢・障害支援課 障害者支援担当 社会福祉職	
桐本 賢治	高齢・障害支援課 障害者支援担当 社会福祉職	

関係課

氏名	所属	
村山 一郎	生活支援課長	
永松 弘至	区政推進課長	

令和2年9月1日現在

令和2年度 第1回 防犯対策分科会会議録	
日 時	令和2年8月19日(水) 10時00分から
開催場所	栄区役所本館1階会議室
出席者	委員：持田、岡田、中村、内藤、小川(敬称略) 事務局：根本、石塚、鶴池
議 事	<p>1 簡易型自動通話録音機「録音チュー」の配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から2年度簡易型自動録音機「録音チュー」について1,000個購入したことの報告と配布方法について、説明があった。 ・民生委員を中心に配布、あわせて自治会町内会へ協力依頼することを決定した。 ・どのような人が詐欺に騙されやすいのかという質問に、栄警察より自治会・町内会との関わりがあまりない人が特に騙されやすい傾向にあると話があった。 <p>2 合同パトロールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、合同パトロールについて説明があった。 ・栄区全体として以前と比べるとパトロール活動が活発ではなくなったとの意見があった。 ・事務局からも地域の防犯パトロールに参加したいと意見があった。 <p>3 振り込め詐欺に関するアンケートの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から令和2年度振り込め詐欺に関するアンケートの実施について説明があった。 ・アンケートの内容についても、どういった内容の手口が多いのか、詳しく回答していただく必要があると意見があった。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄警察署より令和2年8月現在の詐欺被害件数の報告があった。前年の同時期に比べると被害件数が減少している。また、詐欺手口についてもキャッシュカードすり替え型が多かったが、最近では、オレオレ詐欺の被害もでているので、改めて注意喚起が必要との連絡があった。
資 料	<p>1 簡易型自動録音機「録音チュー」について</p> <p>2 振り込め詐欺に関するアンケート</p> <p>3 サギ被害にあわないために！【栄警察署】</p>

令和2年度栄区セーフコミュニティ推進協議会
第2回防犯対策分科会

1 合同パトロールについて

事務局より令和2年12月18日（金）に笠間田立町内会の防犯パトロールに参加させていただきましたので、ご報告いたします。

（当日の様子）



2 振り込め詐欺に関するアンケートの実施について【資料1】

- ・実施場所
老人福祉センター横浜市翠風荘
- ・実施時期（予定）
令和3年3月1日～3月31日

【令和元年度】（参考）
翠風荘閉館のため未実施

3 その他

- （1）振り込め詐欺被害件数について【栄警察署】（参考資料）

次回開催日：令和3年6月頃開催予定

令和2年度 栄区傷害サーベイランス分科会 議事要旨

日時	令和3年3月12日（金）14時から15時
場所	栄区役所新館4階 8号会議室
出席者	<p>【傷害サーベイランス分科会委員】</p> <p>■オンライン 田高座長（横浜市立大学大学院）、小田原委員（横浜市立大学大学院）、豊田委員（聖徳大学）、垣内委員（近畿大学）</p> <p>■会場 滝川委員（栄警察署）、小川委員（同左）、平間委員（同左）</p> <p>【傷害サーベイランス分科会事務局】 永松区政推進課長、高橋地域力推進担当係長、臺丸</p> <p>【栄区役所】 富士田区長</p>
欠席者	大原委員（横浜国立大学大学院）、金子委員（栄消防署）、青木委員（栄区福祉保健センター）（いずれも3月12日までに個別説明実施）

1 議事	発言者
<p>【1】令和2年度 分科会間の連携状況について（報告） 事務局より、資料1に沿って報告</p>	永松課長
<p>【2】令和2年度 セーフコミュニティアンケート集計結果について（報告） 事務局より、資料2に沿って報告</p>	永松課長
<p><【1】及び【2】について、分科会委員からの意見・質疑></p>	
<p>・【2】について、回答率が上がっているが今回導入したと説明があったナッジの手法とは具体的にどのようなものか。</p>	田高座長
<p>→回答までの手順をイラストで分かりやすく掲載する、区長の顔写真を載せる、封筒を目立つオレンジ色にするといった工夫をした。</p>	永松課長
<p>→市で実施する他調査と比較しても回収率が50%を超えることは珍しい。工夫が実ったことは良かった。一方で、認知度が横ばいだったことについては今後方策の検討が必要である。</p>	田高座長
<p>→既に知っている方には浸透しているが、若年層や、居住歴が浅い住民の多い地区では認知度が低い傾向がみられる。そういった層にアピールするため</p>	永松課長

<p>のPR方法は今後の課題である。</p> <p>→SC単独のアンケートなので知らない人は答えない場合がある。意識調査の中での設問とする、他の事業の認知度と比較する等の方策も必要だと考える。</p> <p>→来年度は区民意識調査の年に当たるので、その中で認知度がどう推移するか見極めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分科会間の連携事例であるSC連絡帳について、小学生の保護者は比較的若い層だと思われるので、その層へのPRのため、配布する時にSCを意識づける工夫があると良いのではないかと感じた。また、SCアンケートにおいて参加したい取組として最も多く挙げられたのがウォーキングという結果について、この結果から来年度に向けて何か取り組むことはあるか。 <p>→「SC連絡帳」というタイトルがPRの一つになっているとは思っている。今年度は1～6年生に配布し、来年度からは1年生に配布する。ウォーキングについては、今のところ新たな取組は考えていないが、高齢者安全対策分科会にいただいたご意見を伝え、検討につなげていきたい。</p>	<p>田高座長</p> <p>永松課長</p> <p>豊田委員</p> <p>永松課長</p>
<p>【3】その他</p> <p>事務局より説明</p> <p><分科会委員からの意見・質疑></p> <ul style="list-style-type: none"> 自殺予防対策分科会の座長を務めてきたが、個人情報保護等の課題はあるものの、SCの試みを通して、関係する複数の団体が情報共有して貧困等課題に立ち向かっていくという気概を感じることができたのは成果だと感じている。また、SCアンケートの回答から自殺に対する認識が良い方に変ってきていることも実感できた。一方で、自殺企図者への理解が十分でない人も3割程度固定的に存在する。こういった偏見をどうなくしていくかは課題である。昨年からのコロナ禍の中で、若い女性の自殺企図者が増えている。今後は自殺だけではなく、それに通じる貧困などの課題に対し、横の繋がりを強化していくことを意識したまちづくりを期待したい。 国際認証の有無に関わらず身近なところでこういった取り組みをすることは重要だと考える。指標の一例としてSDGsによって目標を達成していくという考えもある。SCで培った成果をまとめていく中でSDGsから柱をとりあげるのも良いと感じた。SCで明らかになった課題を区としてどう取り上げ、区民の方にお返ししながら一緒に取り組んでいくスタンスをどうつくっていくかが今後の課題だと思う。これまでのサーベイランス分科会での議論も踏まえて、うまく次の体制に継承していくことができれば良いと思う。経費のことも 	<p>小田原委員</p> <p>豊田委員</p>

<p>踏まえ身近なところで住民に還元できることを念頭に置いて残りの期間で様々な取組を進めてもらいたい。</p>	
<p>→これまでの検証とそれを継承していくということについて、貴重なご意見をいただき感謝する。</p>	永松課長
<p>・SCによって学ばせてもらうことも多く、論文でも取り上げた。この3～4月にかけて横浜市大のデータサイエンス学部の田栗教授と共同研究を進めていこうという話になっている。データを活かして地域に貢献できる体制、特に大学と自治体が協働で取り組む枠組みは今後も継続してもらいたいと思うし、横浜市大も広い意味で巻き込みながら役立てれば良いと思っている。</p>	垣内委員
<p>→データについては市の事業においてもEBPM等活用が推進されている。アウトカムをどう設定するかが求められる中で、栄区はSCに取り組んだことでサーベイランス分科会委員の皆様から学ばせていただいた積み重ねがある。引き続き助言等をお願いしたい。</p>	永松課長
<p>・6頁の成果と8頁の方針案を並べてみると、協働体制と安全安心なブランドは方針案に反映されているが、成果として挙げられている「データによる事業の見直し手法」は方針案から読み取りにくくなっている。今後、どう方針の中で取り組んでいくかを検討していくと良いだろう。また、方針案にある「スローガン」について、地域の関係者の意見を考慮すると、国際認証やWHOなどある種の権威に基づくブランディングがなくなるということにもなる。豊田委員からの意見にあったSDGsも一つの国際的にオーソライズされた目標なので、スローガンの一つとして活用することも一案だと考える。</p>	田高座長
<p>→いずれも考えていかなければならないことだと思っている。データ活用については、地域向けの説明として、メインに押し出していくことを考えていなかったため、資料上このような構成になっているが、データ活用は重要視しており前提として考えている。今後地域に方針案を説明する際、データについてどう伝えていくかは持ち帰り検討したい。スローガンについては、地区連合町内会長から「セーフコミュニティとは何をしているものか分かりにくく、地域に伝えにくい」という意見もあった。ブランドという側面を踏まえながら、分かりやすさととの両立を考えながら検討を進めたい。</p>	永松課長
<p>貴重な意見をたくさんいただくことができたので諸々今後検討していきたい。次年度も引き続きSCに取り組んでいくので今後とも皆様よろしく願いたい。</p>	永松課長